

# 慰安婦報



「吉田証言」を取り上げた記事の取り消しなどについて質疑。手前左は加藤編集局長

## 「吉田証言」報道検証の経過と対応

北海道新聞は故吉田清治氏の証言に関する記事を1991年11月から93年9月まで8回掲載しました。

これについて北海道新聞は過去の報道経過を当時の記者などから聴いたり、吉田氏が著書で慰安婦狩りをしたと書いた済州島の古老や郷土史家、ソウルの研究者などを訪ねたりし、証言の内容を検証しました。

その結果、著書や記事の内容を裏付ける証言や文書は得られませんでした。日本の研究者の間でも証言は学術資料たりえない

との見方が強く、信ぴょう性は薄いと判断しました。

これを受けて11月17日の朝刊で、かねて疑義が出ていた吉田氏の証言を検証することを怠り、裏付けの乏しい記事をそのままにしてきたことを読者のみなさまにおわびしました。その上で、証言の内容を報じた91年11月22日の記事を取り消すとともに、北海道新聞のこれまでの記事を蓄積しているデータベースに、当該記事は取り消した旨を付記しました。

故吉田清治氏に言及した北海道新聞の記事

掲載日	内容	対応
① 1991年11月22日	吉田清治氏に直接取材した内容を「朝鮮人従軍慰安婦の強制連行「まるで奴隷狩りだった」」との見出しで報じる	× △
② 11月27日	上記記事が韓国紙東亜日報に紹介されたことを伝える	△
③ 12月6日	韓国の元慰安婦が日本政府の補償を求めて提訴したことを伝える記事で、弁護団が吉田氏の証言も証拠とする方針であることに触れる	△
④ 92年2月15日	吉田氏を証人または参考人として国会招致しようとする動きを報じる	△
⑤ 2月25日	同上*	△
⑥ 8月12日	吉田氏がソウルを訪れた際の関連記事	△
⑦ 8月13日	同上	△
⑧ 93年9月14日	慰安所担当だったという元日本軍下士官と韓国人の元慰安婦とが札幌で対面したことを伝えた前日朝刊の記事に関する吉田氏のコメントを伝える	△

\*共同通信の配信記事  
△データベースに①の記事を取り消した旨を付記  
×取り消し

# 検証特集狙い 自らの問題ペ 証言に疑義な 信ぴょう性確 信頼損ねない



### 吉田証言 戦時中、山

支部で動員部長を務めた治氏が、韓国の済州島などで従人女性を強制連行したと戦後、

北海道新聞は91年、千葉原在ビュース、11月22日朝刊で「朝鮮制連行 『まるで奴隷狩りだ』と見出しで報者」が痛恨の告白」との見出しで報には、武装した現地の警察と時た。若くて頑丈そうな女性を選ほり込んだ」抱いていた赤徴用したこともあるなどの吉田その後も吉田氏がソウルを訪同氏関連の記事7本を掲載して「吉田証言」については90年出されていた。朝日新聞は今年し関連の記事を取り消している

部分は一、安婦問題全方となつた。いま説で、あそこたところが報道があつた。新の当時の経緯があつた。大島寿美にされた、にあるので、しい紙面作が慰安婦問なぜ記事がのか、なぜで紙面にな